

【線条体シンチグラフィ検査】の検査を受けられた患者さんおよびご家族の皆様へ

福岡東医療センター 放射線科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	DATscan における Putamen-to-Caudate Ratio の診断的有用性と線条体内集積分布の評価
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 診療放射線科 研究責任者 上田 智弘
【対象となる方】	西暦 2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に【放射線科】にて【線条体シンチグラフィ検査】を受けた患者様 81 名 【選択基準】 神経変性疾患疑いで検査を施行した患者様で、パーキンソン病 54 例・レビー小体認知症 6 例・進行性核上性麻痺 5 例・非神経変性疾患と診断された患者様 16 例 【除外基準】 体動が認められた患者様/診断名が確認できない患者様
【研究の意義、目的、方法】	本研究では、線条体シンチグラフィ(DATscan)検査を受けられた患者さんの画像データを用いて研究を行います。 DATscan は、脳内の神経の働きを調べる検査で、パーキンソン病や関連する病気の診断に利用されています。本研究では、検査画像から「被殻尾状核比 Putamen-to-Caudate Ratio(以下 PCR)」という数値を算出し、この数値が病気の診断にどの程度役立つかを調べます。 PCR は脳の一部である「被殻」と「尾状核」に集まった薬剤の量を比

	<p>較して求める数値ですが、これまで十分な研究が行われておらず、その有用性は明らかになっていません。</p> <p>本研究では、過去に DATscan 検査を受けられた患者さんの診療情報および画像データを使用し、PCR と診断結果との関係を統計学的に解析します。なお、この研究のために新たな検査や治療を行うことはなく、患者さんに追加の負担が生じることはありません。</p>
【利用する情報の種類】	診断用画像(核医学検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	<p>独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター</p> <p>研究責任者：放射線科 上田 智弘</p> <p>住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1</p> <p>電話番号：092-943-2331（代表）</p>